

ねたまないようにしましょう!

初めに: 静かな場所でやってみましょう。聖句を読み、その情景の中に自分を置きます。場面を思い描き、声を聞きます。登場人物の気持ちになってみます。目の前で起きている出来事のように感じ取りましょう。

おもな登場人物: ミリアム、アロン、モーセ

あらすじ: ミリアムとアロンが兄弟のモーセをねたんで不平を言う。

1 場面について考えましょう。— 民数記 12:1-15を読みましょう。

この記述に登場する3人はどんな人だったと思いますか。

ミリアム: _____

アロン: _____

モーセ: _____

2節で、ミリアムとアロンはどんな口調で話したと思いますか。

「雲の柱」はどんな様子でしたか。エホバはどんな声でミリアムとアロンを叱りましたか。想像して書いてみましょう。(もう一度、民数記 12:5-9を読みましょう。)

11-13節で、アロンとモーセがミリアムのために懇願した時の声には、どんな気持ちが表われていると思いますか。

2 もう少し調べてみましょう。

3人の中でいちばん年下はだれでしたか。そのことは、モーセに対するミリアムとアロンの話し方にどう影響したかもしれませんか。(出エジプト記 2:1-4, 10; 7:7を読みましょう。)

ミリアムとアロンが、「わたしたちによっても[エホバは]話されたのではないのでしょうか」と言ったのはなぜですか。

(ヒント: 出エジプト記 15:20, 21; 28:1-3を読みましょう。)

エホバがミリアムとアロンに対して非常に怒ったのはなぜですか。(民数記 12:7,8を読みましょう。)

不当な批判に対するモーセの反応のどんな点が印象的ですか。

3 学んだことを当てはめましょう。

以下の点について、学んだことを書き出してください。
ねたみが危険であること。

不当な批判を受けた時どうするか。

4 自問してみましょう。

どんな時、人をねたんでしまうだろう。

批判された時、どうすれば柔和で穏やかな対応ができるだろう。

自分にとっていちばん大切だと思うのはどんな点ですか。
なぜですか。

やってみましょう：友達や家族と一緒に声に出して読みます。一人がナレーションを、ほかの人がミリアム、アロン、モーセ、エホバのせりふを担当します。

